

社会福祉法人徳栄会 2024年度JKA補助事業
福祉機器の整備 ストレッチャー対応型機械式浴槽の更新事業
事業完了後職員アンケート

調査目的	事業完了後の成果・波及において、評価実施のため	
調査方法	更新後、特浴機の操作を行った介護職員に対して、調査票を配布し、無記名提出にて回収	
調査期間	令和6年8月16日～26日期間	
回答者数	13名	調査票配布数：13件、うち有効回答者数：13件、有効回答率：100%

【回答者基本情報】

Q1 回答者の性別について

性別	実数	割合
男性	3	23%
女性	10	77%
無回答	0	0%

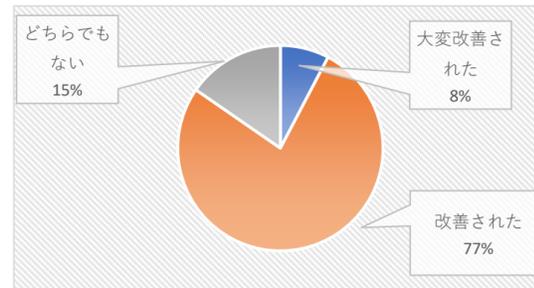
Q2 回答者の経験年数について

経験年数	実数	割合
1年未満	2	15%
1年以上～3年未満	0	0%
3年以上～5年未満	0	0%
5年以上	11	85%

【回答結果】

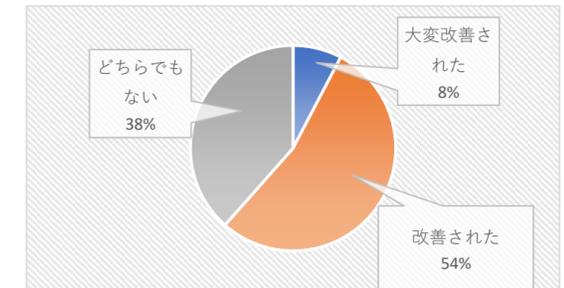
Q3-1 特浴機更新により、故障や老朽化への不安やストレスが解消されたか。

印象	実数	割合
大変改善された	1	8%
改善された	10	77%
どちらでもない	2	15%
悪化した	0	0%
かなり悪化した	0	0%



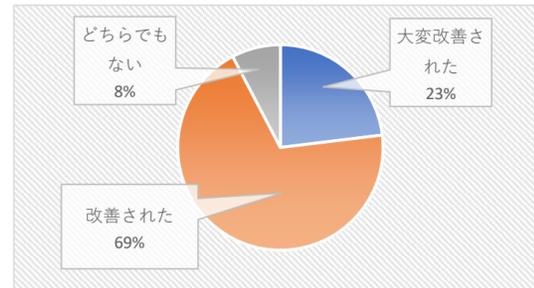
Q3-2 特浴機更新により、作業スペースが改善されましたか。

印象	実数	割合
大変改善された	1	8%
改善された	7	54%
どちらでもない	5	38%
悪化した	0	0%
かなり悪化した	0	0%



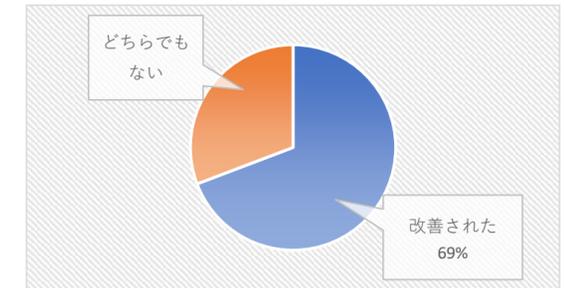
Q3-3 特浴機更新により、安全性が向上しましたか。

印象	実数	割合
大変改善された	3	23%
改善された	9	69%
どちらでもない	1	8%
悪化した	0	0%
かなり悪化した	0	0%



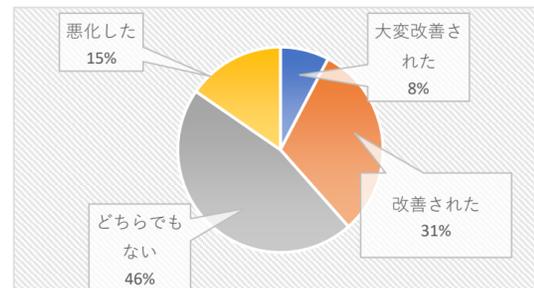
Q3-4 特浴機更新により、業務効率が改善しましたか。

印象	実数	割合
大変改善された	0	0%
改善された	9	69%
どちらでもない	4	31%
悪化した	0	0%
かなり悪化した	0	0%



Q3-5 特浴機更新により、新たな操作方法の習得等にストレスがありましたか。

印象	実数	割合
大変改善された	1	8%
改善された	4	31%
どちらでもない	6	46%
悪化した	2	15%
かなり悪化した	0	0%



事業完了後、事業の成果・波及

達成値	週5日 機械式浴槽作業2.5時間/日 入浴人数平均5人/日
達成状況	80%
内容	当初、入浴作業時間を1日あたり0.5～1時間短縮させ、一日あたりの入浴人数平均を6人とすることを目標としていた。担架から浴槽内への移動等、円滑に入浴介助が行えるようになったものの、一日あたり0.5時間以上の入浴作業の時間短縮までには至っていない。ただし、事業完了後の職員アンケートの結果から、不安やストレスの緩和、安全性・業務効率の改善等、更新に伴う介護浴槽の機能拡充に伴い、入浴介助の場における介護環境の改善が確認された。